



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東  
コード番号 9716 URL <https://www.nomurakougei.co.jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 奥本 清孝  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 前島 隆之 (TEL) 03 (5962) 1119  
コーポレート本部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	94,234	△0.9	3,085	△12.2	3,206	△11.7	2,235	△11.0
2024年2月期第3四半期	95,099	23.8	3,512	92.8	3,630	87.9	2,511	83.8

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 2,221百万円 (△10.2%) 2024年2月期第3四半期 2,474百万円 (24.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	20.05	20.05
2024年2月期第3四半期	22.54	22.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	84,978	49,624	58.4
2024年2月期	86,697	50,306	58.0

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 49,624百万円 2024年2月期 50,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	27.00	27.00
2025年2月期	—	0.00	—		
2025年2月期（予想）				32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
配当予想の修正については、本日（2025年1月10日）公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	11.1	8,000	53.5	8,100	50.7	6,000	55.3	53.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
連結業績予想の修正については、本日（2025年1月10日）公表いたしました「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) NOMURA DESIGN & ENGINEERING MALAYSIA SDN. BHD.、除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	119,896,588株	2024年2月期	119,896,588株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	8,351,544株	2024年2月期	8,477,762株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	111,494,551株	2024年2月期3Q	111,400,648株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状況の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
3. 補足情報 .....	10
市場分野別の生産高、受注高および受注残高の実績 .....	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	95,099	94,234	△864	△0.9
営業利益	3,512	3,085	△426	△12.2
経常利益	3,630	3,206	△423	△11.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,511	2,235	△275	△11.0

当第3四半期連結累計期間（2024年3月1日～2024年11月30日）におきまして、日本国内の景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかな回復傾向にありました。

このような経済状況を背景に、当社グループが事業を展開するディスプレイ業界では、リアルな空間への人流の回復やインバウンド需要の増加などの影響により、集客施設への設備投資に持ち直しの動きがみられることから、市況環境は堅調に推移いたしました。しかしながら、物価上昇にともなう資材価格の高騰や、人手不足に端を発する人件費の高騰などについては、引き続きその動向に注視が必要な状況でありました。

以上のような事業環境において当社グループは、中期経営方針（2023年度～2025年度）において掲げた「企業価値の向上」と、その起点となる「クリエイティビティの醸成」を図る取り組みを進め、持続的な企業成長を実現するための組織パフォーマンスを向上させることを目指しております。中期経営方針の2年目となる2024年度においては、事業上の課題として特に重要だと捉えている「生産性の向上・利益構造の改善」や「競争力のある人財育成・確保」などを重点方針として掲げて注力しております。

事業活動といたしましては、海外ブランドの店舗を多く手掛ける専門店市場や、大阪・関西万博関連のプロジェクトに携わる博覧会・イベント市場等において、売上が好調に推移いたしました。その一方で、都市再開発に関連するプロジェクトを進める複合商業施設市場等においては多くの大型プロジェクトが未だ進行中であることから、前年同期に比べると売上高が減少する結果となったものの、多くの受注残高を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べると0.9%減少し、942億34百万円となりました。利益面におきましては原価率の改善が見られるものの、中長期的な企業価値の向上を見据えた人財育成費用やIT関連費用が増加したことにより、営業利益は30億85百万円（前年同期比12.2%減）、経常利益は32億6百万円（前年同期比11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億35百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

市場分野別の売上高は次のとおりです。

（単位：百万円）

市場分野名	売上高		増減額	増減率 (%)
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	20,579	27,016	6,437	31.3
百貨店・量販店市場 (百貨店・量販店等)	4,386	2,931	△1,454	△33.2
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	14,056	9,434	△4,621	△32.9
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、C I等)	9,014	9,056	41	0.5
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	7,046	6,058	△988	△14.0
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	16,519	17,120	600	3.6
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	4,657	7,080	2,422	52.0
その他市場 (オフィス、ブライダル施設、サイン、モニユメント、飲食・物販事業等)	18,838	15,536	△3,301	△17.5
合 計	95,099	94,234	△864	△0.9

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産の部）

資産合計は、前期末から17億19百万円減少し、849億78百万円となりました。

流動資産は、前期末から9億26百万円減少し、710億99百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少によるものです。

固定資産は、前期末から7億93百万円減少し、138億78百万円となりました。これは主に、無形固定資産、投資有価証券の減少によるものです。

（負債の部）

負債合計は、前期末から10億36百万円減少し、353億54百万円となりました。

流動負債は、前期末から9億85百万円減少し、303億38百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少によるものです。

固定負債は、前期末から51百万円減少し、50億15百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債の減少によるものです。

（純資産の部）

純資産合計は、前期末から6億82百万円減少し、496億24百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにともなう利益剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は前期末の58.0%から58.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績予想および配当予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年4月11日に公表いたしました業績予想および配当予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,613	34,058
受取手形、売掛金及び契約資産	37,189	32,080
棚卸資産	955	1,836
その他	1,376	3,217
貸倒引当金	△108	△93
流動資産合計	72,026	71,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,951	6,997
土地	3,743	3,743
その他	2,358	2,457
減価償却累計額	△5,512	△5,765
有形固定資産合計	7,541	7,432
無形固定資産	1,639	1,205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,989	2,428
退職給付に係る資産	214	455
繰延税金資産	1,216	1,249
その他	1,276	1,309
貸倒引当金	△205	△202
投資その他の資産合計	5,489	5,239
固定資産合計	14,671	13,878
資産合計	86,697	84,978

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,575	18,151
未払法人税等	1,605	287
契約負債	3,058	4,853
賞与引当金	1,748	1,440
完成工事補償引当金	176	111
工事損失引当金	69	65
株式報酬引当金	71	—
その他の引当金	—	43
その他	4,018	5,386
流動負債合計	31,324	30,338
固定負債		
退職給付に係る負債	4,438	4,390
株式報酬引当金	—	11
その他	628	613
固定負債合計	5,066	5,015
負債合計	36,391	35,354
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,971	7,059
利益剰余金	36,764	35,991
自己株式	△1,069	△1,053
株主資本合計	49,163	48,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	682
為替換算調整勘定	399	450
退職給付に係る調整累計額	△41	△4
その他の包括利益累計額合計	1,143	1,129
純資産合計	50,306	49,624
負債純資産合計	86,697	84,978



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
売上高	95,099	94,234
売上原価	79,351	78,293
売上総利益	15,747	15,941
販売費及び一般管理費	12,235	12,856
営業利益	3,512	3,085
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	36	50
仕入割引	18	17
保険配当金	25	28
その他	34	26
営業外収益合計	119	129
営業外費用		
為替差損	1	8
営業外費用合計	1	8
経常利益	3,630	3,206
特別利益		
投資有価証券売却益	273	273
その他	0	—
特別利益合計	273	273
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	—	18
特別損失合計	2	18
税金等調整前四半期純利益	3,901	3,461
法人税等	1,389	1,225
四半期純利益	2,511	2,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,511	2,235

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	2,511	2,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	△102
為替換算調整勘定	109	51
退職給付に係る調整額	33	37
その他の包括利益合計	△36	△14
四半期包括利益	2,474	2,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,474	2,221

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年同期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年同期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループは、ディスプレイ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	949百万円	920百万円

3. 補足情報

市場分野別の生産高、受注高および受注残高の実績

(1) 生産高の実績

(百万円)

市場分野名	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
専門店市場	20,894	27,322
百貨店・量販店市場	4,384	2,940
複合商業施設市場	14,086	9,446
広報・販売促進市場	9,004	9,160
博物館・美術館市場	7,052	6,089
余暇施設市場	16,467	17,275
博覧会・イベント市場	4,676	7,151
その他市場	19,009	15,594
合計	95,574	94,981

(注) 生産高の金額は販売価格によっております。

(2) 受注高および受注残高の実績

(百万円)

市場分野名	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
専門店市場	23,146	9,346	31,444	13,037
百貨店・量販店市場	4,700	1,498	3,452	1,474
複合商業施設市場	12,538	7,342	8,814	14,388
広報・販売促進市場	8,270	4,544	13,292	6,955
博物館・美術館市場	12,965	9,225	8,002	7,778
余暇施設市場	18,198	21,693	12,921	14,905
博覧会・イベント市場	5,988	2,085	17,740	15,701
その他市場	19,144	9,824	17,794	12,018
合計	104,954	65,561	113,462	86,260